

## 第 68 回 原子力安全専門委員会定例会（議事概要）

日 時：令和 3 年 1 0 月 1 9 日（木）10：00～11：00

場 所：県庁 10 階 1002 会議室

出席委員：鞍谷委員長、田島委員、泉委員

（WEB 出席）三島委員、西本委員、山本委員、望月委員、黒崎委員、玉川委員、大堀委員

議 題：

- （1）原子力発電所周辺の環境放射能調査について
  - ・令和 3 年度 第 1 四半期（4 月～6 月）報告
  - ・令和 2 年度 報告
- （2）発電所の運転・建設および廃止措置状況について
  - ・令和 3 年 7 月～9 月分報告

概 要：

- 原子力発電所周辺の環境放射能調査の結果、発電所の運転および廃止措置状況について、事務局より説明
- 資料については、次回の原子力環境安全管理協議会の場で配付予定

（原子力発電所周辺の環境放射能調査）

○令和 3 年度 第 1 四半期

- ・県内発電所に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ・浮遊じん放射能の連続測定の結果、いずれも天然放射能のレベルであった。
- ・一部の試料から過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられるセシウム 137 が検出されたが、環境安全評価上問題となるレベルではなかった。
- ・一部の試料から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全評価上問題となるレベルではなかった。

○令和 2 年度

- ・線量上昇、浮遊じん放射能、環境試料の測定結果については同上。
- ・各種環境試料からセシウム 137 等の人工核種が検出されたが、過去実績と同程度であった。福島事故後は一部試料でセシウム 134 が検出されていたが、平成 29 年以降検出されていない。
- ・令和 2 年度の県内発電所に起因する環境安全評価上の問題は認められなかった。

（発電所の運転・建設および廃止措置状況）令和 3 年 7 月～1 0 月

- ・運転中のプラントについて、5 基が運転中で、3 基が定期検査中となっている。
- ・当該期間において安全協定に基づき報告された異常事象は、美浜 3 号機の非常用ディーゼル発電機の運転上の制限の逸脱、大飯 3 号機の循環水管ベント弁付近からの海水漏れに伴う出力降下、高浜 2 号機の建設中建屋における作業員の負傷の 3 件。

<主な質疑>

Q. 大飯 3 号機の循環水管の漏えいについて、目視点検があまかったのではないのか。

A. このエリアは定期的に巡視点検しており、事象発生 2 日前に所員が錆を発見し、対処することを決定していたが、しゃがまないと見えず、点検は十分ではなかった。

Q. 高浜 2 号機の作業員負傷について、作業現場で発生する事象を想定した措置が必要。

A. 開口部は閉止するという基本的対策を行うこととしている。

以 上